

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。
心とところをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地本



JREユニオン仙台地本

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室

TEL 022(352)4679 (FAX兼用)

発行責任者 添田 寿男
編集責任者 齋藤 勝彦

第6回定期大会開催!

安全の確立と民主的労働運動を引き継ぐため

組織拡大を加速させ、組合員一丸となり

民主化への道を邁進しよう!

設備系職場で組織拡大6月21日付

7月22日ジェイアール・イーストユニオン仙台地本方はレオパレス仙台において代議員・多くの傍聴者を集め第6回定期大会を開催した。

開会前に西日本豪雨被害者に対する黙とうを行った。また、会場入り口では西日本豪雨被害のカンパ活動もおこなった。



開会のあいさつに立った鈴木副委員長は2月以降東労組からの大量脱退が続いているが我々が動かなければ何も変わらない

い。役員が先頭に立って組織拡大をすると挨拶をした。

大会議長に選出された佐藤代議員は東労組崩壊を受けて節目の大事な大会である。十分に検証してこれからの運動に生かしていこうと挨拶をした。



来賓はUAゼンセン宮城県支部富永支部長と交通共済仙台事業所伊賀所長から挨拶をいただいた。退職者連絡会からは安西会長が駆けつけてくれ

た。

添田執行委員長挨拶(要旨)

西日本豪雨により、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、安否不明の方々の早期発見と、お怪我をされた方々の一日も早いご快癒をお祈りし、被災に遭われた皆様へのお見舞いを申し上げます。そして少しでも早い災害復旧となりますようご祈念申し上げます。



東日本大震災から7年が経過しました。自然災害の猛威は、年々破壊力が増しその数も増えてきています。自然災害には、私たちが真剣に考え取り組んでいかなければなりません。鉄道輸送における防災意識に対しても、労働組合の観点からもしっかり取り組み、安心してご利用いただけるインフラ企業としての責務を果たしていかなければならないと考えています。

まずは、**民主化闘争と組織拡大**についてであります。

6月21日付けの組織拡大です「労働組合に加入していなければダメだ」「私たちの生活を守るには労働組合が必要だ」と加入していただきました。一昨年の「スト権投票」からはじまった騒動は、今年2月からのJR東労組の瓦解へと続き、「労働共同宣言」破棄、会社との労使関係は破綻しました。4万6千人の組合員はわずか4カ月の間に1万3千人とも言われ、7割を超える3万3千人の組合員が、組合未加入



者となりました。会社とJR東労組との労使関係は終焉を迎えました。併せてJR東日本労連に加盟していた大方のグループ労組が、労連を脱退したとの報も流れています。いま、私たちは労政転換のステージに立っているという現実を、役員はもとより全組合員で認識していただきたいと思います。

JR東労組と会社の関係は終焉しましたが、過激派に蹂躪されたJR東労組がなくなったらわけはありません。そして東労組を脱退した社員が、

いま各地で新しい労働組合を結成しています。

昨年2月の臨時大会ではスト権は確立していませんが、いつの間にか確立していたことになっていました。そして本年2月JR東労組中央委員会では、2018春闘はスト権を掲げて闘うと「満場一致で可決」されたはずですが、賛成とした人は、今どうしていますか。これほどまでに組合員を騙す労働組合組織はあるのでしょうか。

スト権のオルグ・投票用紙に書かせた役員、中央委員会でスト権を掲げて闘うことを可決した役員・中央委員、そして今まで一緒にいた役員等が臨時大会で一部の役員等に責任を負わせ、頭のすり替えをした今のJR東労組、そして東労組を脱退して各地で労働組合を結成している元JR東労組の役員・組合員活動家、そしてJR東日本内に新たな労働組合を結成する、結成したとしても、その労働組合の役員や活動家を本当に信じられますか。では、皆さんはどうしま

すか。私たちが望んでいたステージに、まさにいま、立っています。何をするか組織としてどう行動を展開しなければならぬかを、再確認してとにかく実践していただきたい。25年間の苦悩をいま行動に現さなければなりません。ただの傍観者、評論家では何も変わりません。本当の闘いは、このステージに上がった今からだと、そのために本部、地本、分会、そして一人ひとりの組合員が丸となつて、各々のステージで闘う決心をこの大会で決意していただきたいと思えます。職場の仲間、私たちが理解し支援してくれている職場の仲間に加え、JR東日本の次の30年を担う責任ある企業内労働組合を、ともに築くために必ず行動を起こしてください。

2点目は、最重要課題とする**安全問題と技術継承**です。

6月9日東海道新幹線のぞみ265号で発生した無差別殺傷事件は、大変痛ましい結果となってしまいました。列車とい



う利便性と大量輸送の隙間を突いた犯罪は絶対に許すことはできません。お客さまの安全確保と、関係社員の安全を守る対策を徹底し、二度とこのような事件を発生させるはなりません。

6月17日東北新幹線こまち・はやぶさ21号車両故障により約6時間運転を見合わせる事象が発

生。長時間の運転見合わせであり、お客さまに多大なるご迷惑をおかけしてしまいました。様々な要因はあると思いますが、せめて仙台、東京間は運転が可能であったと思えます。この件については地本として会社側に申し入れを行ないたいと思います。

技術の継承、人材育成の問題は喫緊の課題であり、遅々と進んでいないのが現状です。安全で安定した輸送はわが社の商品です。その商品に磨きをかけお客さまへ提供することが使命です。お客さまからの信頼を失うことになってはなりません。

最近、会社より「JR東日本グループ経営ビジョン変革2027」が出されました。今はその転換点であり、この重要な時期に労働組合はいかにあるべきかが問われています。

技術継承については、会社が教育として様々な取り組みをしていることは否定しません。しかし、職場の中で仕事を通して培ってきた職場づくりが一番

の技術継承です。その職場づくりには、労働組合的な意識の繋がりが内面にあつたと思つています。いい会社の中には、いい職場がある。それを築くのは、会社の教育や現場管理者の指導だけではなく、労働組合の中で業務活動として取り組んできた組合員との対話、問題の集約、交渉といった、職場づくり運動が効果的に関与していったと信じています。そのためにも技術継承には、企業内労働組合の責務として、会社とともに取り組まなければならない課題であると考えます。JR東日本が継承する真の労働組合で

あればこそできることだと考えます。信頼できる労使関係の再構築、ぜひ会社には、この部分を切に考えていただきたいと思えます。

会社は次から次へと様々な施策を出し、それに対応できるのは労働組合であります。決してJR東労組や社友会、社員会ではなく、ジェイアール・イーストユニオンであります。

3点目は、**今後の運動への取り組み**についてです。

特に組織拡大については、具体的なものを含め実行することを念頭に置き提起させていただきま

ジェイアール・イーストユニオン 仙台地方本部役員名簿

執行委員長	添田 寿男	仙台駅
執行副委員長	飯野 浩	仙台駅
執行副委員長	鈴木 義一	郡山電力技術セ
執行副委員長	齋藤 勝彦	新幹線総合車セ
事務局長	栃窪 吉則	白石蔵王駅
執行委員	青田 節雄	新幹線総合車セ
執行委員	橘 伸幸	郡山電力メセ
会計監査	渡辺 近	T S S 郡山営業
会計監査	大泉 浩康	多賀城駅
特別執行委員	小林 俊一	T S S 利府駅

した。この間私たちは今日までJR内に「民主主義」を守るため、様々な労働組合の離合集散を繰り返してきました。その中で再三再四、私たちを排除する攻撃を仕掛けられてきました。しかし25年たった今でも私たちの組織は残っています。JR連合をはじめとして様々なところからご支援もありましたし、これまでの諸先輩が心血を注いで守ってくれた功績もあります。その中でこの「民主主義」の礎を、今ここにいる私たちがどうするか判断に迫られています。私たちはこれまでこの運動に自信と確信、そして信念を持って取り組んできました。しかし、行動、実践には現れませんでした。自信と確信、信念だけでは組織拡大は成りません。まずは自分の職場の社員の人たちへの声掛けをする。組合員一人ひとりが奮起し実行に移してはじめて組織拡大が成されます。決して他人任せにせず、全組合員と一緒にJR東日本内に新たな真の企業内労働組合を

築き、継承させましょう。最後にありますが、仙台地本本部執行部としてこの一年が大変重要な年となるとの認識です。イーストユニオン仙台地本本部の躍進と組織の確実な継承に向けて、一丸となって取り組む決意を申し上げ、地方本部執行部を代表してのご挨拶といたします。

代議員からの質疑・討論

佐藤代議員(福島)



・3月から毎週金曜日に労働講座を開催してきた。参加してもらおうように各職場でコミュニケーションを図るようにしている。
・会社の会議室を使って他労組を交えて「話を聞く会」など開催していきたい。

・運転関係と駅関係の職場環境の差がある。
・郡山駅での事故などの

異常時による遅れの伝達が悪くなっている。連絡体制の見直しが必要ではないか。
・ワンマン列車が増え、貫通ドアでベビーカーで通れなくお客さまへ迷惑を掛けている。

末永代議員(宮城)



・現在東労組200名ほど職場にいる。今までは退職時の送別会には東労組だけだったが、有志が実施したので送別会に参加する事ができ大きく変わった。
・6月17日のはやぶさこまち21号の事故ではやぶさ22号に移乗をおこなった。こまち号から180名はやぶさ号から650名移乗した。8月1日から状況によりわたり板を2カ所設置許可になる。

菅野代議員(宮城)
・TSSは8月からエルダー社員だけが短日勤

務となる。他はどのようなになっているのか。



・無関心層をどのように求心できるかが課題だと思う。
・組織を守るための勉強会が必要と思う。

成田代議員(宮城)



・会社の変化は古川地区でも聞こえてくる。
・社友会何もないが良いのだが、何かあったときに声を出せなくなる。
・6月17日のはやぶさこまち21号での事故で夜遅くまで駅舎を開けておいた時、警備など不安に感じるところがあった。

柗窪事務局長総括答弁(要旨)



向こう1年の取り組みが決定し組織拡大へ繋がっていかねばなりません。

私たちの考え民主的労働運動を引き継ぐため、一日一日を大切に行動をお願いします。

会社は、今までとは対応が変わってきている事は肌で感じられるようになってきています。会社は重い舵を切りました。いやまだまだと考える人もいると思います。しかし、私たちの今後の行動で舵を大きく動く事になります。

そのためにも「一人が10人と対話」「一人に10回対話」を実践し前向きプラスプラスの考えで行動を展開し、組織拡大を行いJR東日本の中で第1組合を目指す事でJR連合10万名達成を成し遂

げましょう。

今後、自動車など自動運転が始まればどのようになるのか？チケットレスが進めばどうなるのか？今のような改札が無くなり改札形態が変わったら？など、このような変化に対応ができるのはイーストしかないと考えます。なぜなら、企業内労働組合としてこれからの少子高齢化、生産人口の減少、首都圏一極集中への対応策を会社と共に考える組合だからです。これまでの東労組では反対反対の交渉での遅れによる企業への損失が発生することは間違いありません。この問題を解決できるのはイーストユニオンしかないと考えます。

現在、東労組を脱退して未加入者により社員会が結成され36協定の代表者が社員会の代表となっています。しかし、交渉の対応は労働組合でなければならぬと話をしておりしなればなりません。この機会を見逃すこと



なく組織拡大への行動に繋げなければなりません。一つ一つ課題をクリアーして拡大へと繋がる事だと思えます。

この大会の活動方針が行動の礎になります。行動した事には必ず成果があります。「歳月不待」共に楽しく明るく行動しましょう。

今まで取り組んできた事をここで終わらす事はできません。

残された時間はわずかです。若い仲間のイーストユニオンへの加入への決断と勇気を無駄には

大会宣言 (案)

本日、私たちはホテルレオパレス仙台において、第6回定期大会を開催し組織の決意を込めた運動を確認するとともに、全組合員が一丸となり力強く突き進むことを満場一致で決定した。私たちは、JR東日本内に責任ある企業内労働組合を目指し、会社の社会的信頼と発展こそが働く社員の幸せに直結するとし、施策提言型運動をベースに、労働組合のチェック機能と民主的な企業内労働組合を目指してきた。

そして本年、私たちを取り巻く情勢は大きく変化した。国鉄改革時に取り残された過激派が主導するJR東労組と会社の関係は終焉を迎えたが、過激派主導の労働組合がJR東日本内に影響を及ぼすその勢力は減っても無くなったわけではない、そうした影響力を排除してこそ民主化闘争の完遂となることをしっかり受け止め、未来を想像できる組織が私たちジェイアール・イーストユニオンであることを再確認した。

私たちの目指す労働組合は、JR東日本内の責任ある企業内労働組合である。大衆運動や政治闘争をするための左翼的な労働者イデオロギーを振りかざした組織ではなく、この会社に根ざした社員のための労働組合を次の30年に繋ぐため新たに創造する企業内組合にこだわり、次代に継承していくために民主化闘争の完遂にむけて力強く行動を展開する。

安全への取り組みは、「お客さま死傷事故とすべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を労働組合としての命題と重く受け止め、JR連合の掲げる安全指針をもとに会社との議論をさらに深めていかなければならない。重大インシデントの撲滅には社員一人ひとりの強い意思と責任が重要であり。そのためには社員と会社間の絶対的な信頼関係の構築が必要条件である。

昨今、JR東労組との関係が瓦解した直後から、東日本管内での列車妨害が530件を越えて発生していると報じられている。労使関係が悪化すると安全が脅かされる事象がなぜ起きるのか、過激派主導の組合が関与していると安易に想像してしまう。お客さまからの鉄道輸送の安全への信頼を守るためには、毅然とした態度で列車妨害に対処していかなければならず、会社の信頼を失ってはならない。私たちは、現場で一つひとつ課題に真摯に向き合い、責任ある企業内労働組合として、安全環境を構築する取り組みを職場の中から展開し、労使一体となってJR東日本の社会的信頼のさらなる向上に取り組んでいく。

イーストイノベーションは「自らを変え!!明日を創る!!」として、これまでの自分を変えて次代に突き進む新たな組織を標榜している。JR東日本の中に、本当にそこで働く社員のための労働組合は絶対必要である。過激派に影響を受けた労働組合はまだなくなならない。それと対峙するためには、真にJR東日本を憂い守る企業内労働組合を構築し継承するしかない。私たちがイーストユニオンを結成したその訳は、今、この時にある。

仲間と共に新しい労働組合をつくるその中核が私たちであることを認識し、全組合員一丸となり全力で、次代に繋ぐ「真の企業内労働組合」にしていこうではないか。以上宣言する。

2018年7月22日

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地地方本部 第6回定期大会

できません。今後の活動を盛り上げていくのには私たちがであります。以上総括答弁といたします

その後、ていきされた全ての議案は採択され、最後に、添田員長の団結ガンバロウで締められました。



職場の若手を誘って
全員集合!!

3thイースト・キャンプ開催

8月29日～30日(1泊2日)
ホテル&コテージ
四季の森「関の里」
福島県白河市表郷金山字愛宕山1

小球遊会(ゴルフコンペ)
開催

9月18日(火)
開会式8時45分～
プレー開始9時00分～

福島カントリークラブ
福島県福島市松川町水原室沢45
☎024-595-2131

会費 1000円

参加報告および問い合わせは地本役員までお願いします